

## 笑顔と涙の6日間

活動先：NPO 法人 菜の花～成岩

クラス：原田 正樹 先生

### 1. 自分の成長と気づき

私は、もともと高齢者の分野に興味を持っていた。サービスラーニングを希望した理由も高齢者の方と実際に触れ合い、自分の学びに繋がりたいと感じたからである。私が活動に行かせてもらった菜の花～成岩は、認知症の高齢者の方が多く利用している。そのため、認知症について理解を深めるとともに、コミュニケーション方法も学ぶ必要があった。私は、菜の花～成岩へ活動に行く前に認知症の方とのコミュニケーション方法について学んだ。しかし、実際に活動に行ってみると大学での学びや自主学習を実践にうつすことの難しさを知った。また、活動していた当時は認知症の高齢者の方と触れ合うときは、自分の学習をもとにコミュニケーションをとらなければいけないと思っていたが、今はその意識は間違っていると感じている。認知症の方でもそうでない方でも、普段通りの自分でコミュニケーションをしていたら、また違う学びができたのかもしれないと思う。この気づきは、反省点でもあり、失敗したことでもある。またこれに伴い、私は活動先についての事前学習が足りなかったと気づき、これも反省点である。事前学習は活動前に2回行っているが、活動が終わったときに事前学習の大切さに気づいたのである。私たちのグループは、活動プランに含まれるレクリエーションも慎重に考えた。しかし、利用者の方は上手くできなかつたり、すぐに飽きてしまうなどなかなか円滑には行えなかった。これは、活動を行う前に菜の花～成岩がどのような場所であるか、普段なにをして過ごされているか、明確ではなかったことが原因であったのではないかと気づいた。私自身は、認知症の方とのコミュニケーション方法を学ぶことばかりに気を向けていたのではないかと反省している。どのような場所で、普段なにをして過ごされているか活動前に知ることができたら、よりよい活動プランが立てられ、実行できていたのだと思う。自分で計画し実行することの難しさを学び、これからの自分に繋げることができた。また、私は今回の活動で、悩んだり考えたりとたくさんの面で学びを深めることができたので、コミュニケーション能力や考える力が成長したのではないかと考える。

また、私はグループとなって活動することに対して苦労したことを覚えている。サービスラーニングでは、少人数のグループでレポートを作成したり、発表をしたりとグループで行動することが多かったと感じている。その中で、分担して任されたことを果たす責任感や、物事をやり遂げるためにみんなで連携することの難しさを痛い程実感した。例えば、活動についてのレポートや発表原稿を作る際、みんなで集まらなければならないことが多々あった。そこで、集まってみんなの意見を取り入れ、意見をまとめてひとつにするものの難しさを知った。また、自分がミスをしたときにグループで支え合い、他の人がミスしたときは私が支える、という支え合いの精神を知ることができた。私は、この1年間でサービスラーニングは活動を通しての学びの他に、人と連携することの難しさや責任感を

持つことの大切さ、助け合いの精神を学ぶことができたのだと気付いた。

## 2. この活動を通して見えてきた地域活動や社会問題

私は、NPOでの活動を通して、地域性について考えた。つまり、NPOと地域の関わり合いについて注目した。NPOは地域に密着していると学んだが、実際には地域の中で一部としか関わりがなかったり、あまり地域と関わっていなかったりと、密着していないように見えた。このことから、地域との関わり合いに疑問を持った。現状として、NPOがあまり地域に知られていないことが挙げられる。または、名前は知っているがどこでなにをしているか理解されていないなどという問題もある。この課題は、NPO自体が地域の人たちに知ってもらい理解してもらえるような広報活動や交流を持てるような活動を行うことである。私が提案したいことは、広報活動を深めることと行事を増やすことである。まず、広報活動を深めるためにNPOの詳細を載せたチラシや行事の宣伝のチラシを作ることが必要であると考えた。そして、宣伝の場を設けてチラシを配り、そこでボランティアの紹介をしたり、地域での回覧板などにチラシを入れるなどして工夫を行うことである。これらを見た地域の人たちは、そのNPOの名前を知れる他、興味を持ってくれる可能性もあり、地域との関わり合いを深めるきっかけになる。そして、行事を増やすことは、NPOの名前や特徴を知ってもらい良い方法であると考えた。また、その場で行事を行うことで訪れた人たちはNPOの雰囲気を感じることができる。このことから、NPOを理解してもらえる可能性が高くなる。情報がわからなかったり知らない場所には当然、人たちは寄ってこない。つまり、興味を持ってもらえるような活動を行うことで、地域との関わり合いの第一歩になると私は考察する。私たちが活動に行ったNPOは、誇れるような活動を行っているのを知ってもらうことで地域との関わり合いも増え、地域の人たちと信頼関係を築くきっかけにもなるのではないかと考えた。

## 3. おわりに

6日間という短い期間でしたが、菜の花～成岩に活動に行き、とてもよい経験ができたと感じています。はじめは緊張していて、利用者の方に対してだけでなく、職員のみならず、みなさんに対してもぎこちない接し方をしてしまいました。しかし、2日目からは利用者の方とも積極的にコミュニケーションが取れてきたり、わからないことがあったら職員さんに素直に聞いたり、とても充実した時間が過ごせたと感じています。自分たちで考えたレクリエーションを利用者の方と楽しんだことや、失敗を繰り返して悔しい気持ちになったことなど、忘れられないことばかりです。菜の花～成岩では学校では学べない大切なことを学びました。この学びはこれからの学びに繋がりたいと思います。本当に、6日間ありがとうございました。